



7/9 ▶ 見る人に希望と勇気を与える作品

故木村健一弁護士(守山剛画伯)がフランスの国際展「ル・サロン」で入選した作品「国境の祭り」を夫人で書家の木村松峯(峯子)さんより市へ寄贈いただきました。寄贈いただいた絵画は市民文化会館2階ロビーに展示されています。



6/23 ▶ 「はるみレシピ」で下田をPR

下田市親善大使の栗原はるみさんを迎え、料理教室&石井市長とのトークショーが開催されました。料理教室では、金目鯛やひじきなど地元の食材を使ったレシピをデモンストラーション形式で紹介。栗原さんは今後も要望があればこうした料理教室を開き、下田をPRしていきたいと話してくれました。



健康管理のスタートは健診から

5月から7月にかけて市内27会場で基本健診が行われ、2,762人の方が受診しました。自分の健康状態を知り、生活習慣病の予防に役立てるためにも、年に1度は基本健康診査を受診しましょう。



7/2 ▶ 明るい社会を築こう

県青少年の非行問題に取り組む強調月間の街頭キャンペーンが下田駅周辺で行われました。当日は広報チラシ、啓発グッズの配付をしながら、非行防止を呼びかけました。



大会に向け連日訓練に励んでいます

8月4日、草薙運動公園で開催される県消防操法大会小型ポンプ操法の部に稲生沢地区の第2分団が賀茂地区代表として出場します。訓練の成果を発揮できるようにがんばってください。

- | | |
|--------|--------------------|
| 1日 | 津波避難訓練(住吉区) |
| 2日 | 非行防止キャンペーン |
| 7日 | ごみひろいしまししょう |
| 11~20日 | 夏の交通安全県民運動 |
| 17日 | 北方領土返還要求静岡県会議(静岡市) |

- | | |
|--------|---------------|
| 18日 | 「海の日」記念式典 |
| 19~22日 | 第29回国際カジキ釣り大会 |
| 21~22日 | マリンフェスタ下田 |
| 29日 | 参議院議員選挙投票日 |

下田市内の指定文化財 その25

国指定史跡

玉泉寺

所在地 下田市柿崎

指定日 昭和26年6月9日

玉泉寺は、日本で最初の米国領事館として、およそ3年の間、総領事ハリスが通訳ヒュースケン、召使いの中国人らとともに滞在した寺院で、幕末外交上の重要な史跡として国の指定を受けています。



柿崎 玉泉寺

瑞龍山玉泉寺は戦国時代末期の天正年間に創建されたと伝えられる曹洞宗の寺院で、嘉永7年に結ばれた下田条約によって、異人休息所となり、日露交渉で来航していたプチャーチン一行の宿舎にもなっていました。

ハリスの来日と領事館開設

安政3年(1856)7月21日午後、総領事ハリスを乗せた米国船サン・ジャシント号が、突如下田に入港しました。幕府は驚き、ハリスが日本駐在を要求しているのを知ると、様々な理由をもって拒絶しようとしたが、とうとう下田町からやや離れた柿崎の玉泉寺をハリス一行の宿舎に認めることとなりました。やがて、日本において最初の星条旗の掲揚が玉泉寺境内で行われ、幕府は米国領事の駐在を正式に認めることになりました。

ハリスの任務

日本と米国の自由貿易を実現するための通商条約締結が使命でしたが、幕府との交渉は思うように進まず、体調を崩したハリスが看護婦を要求したことにより、後に「唐人お吉」物語を生むことになりました。安政4年5月によりやく日米貨幣の交換比率を定めた下田協約が結ばれ、翌年に日米修好通商条約が締結され、安政6年に横浜が開港さ

れると、下田の領事館は閉鎖され、ハリスは公使として江戸麻布善福寺に移りました。柿崎でのハリス

ハリス著『日本滞在記』には柿崎の印象を、小さな漁村だが、住民の身なりはさっぱりしていて態度も丁寧であるとし、玉泉寺については、部屋は広く大変きれいで、清潔であると評しました。敬虔なクリスチャンであったハリスの生活は質素で、乗馬を好み、柿崎の海岸を度々散歩したことが記録されています。



異国人の墓 (写真はアメリカ人将兵の墓)

玉泉寺には、幕末期に日本へ来航し、不幸にも命を落としたアメリカ人将兵とロシア人将兵の墓が今でも残っており、歴代住職によって大切に守られています。

アクセス 下田駅より須崎・爪木崎方面バス 柿崎神社前バス停下車徒歩1分
問合せ先 教育委員会生涯学習課
☎5055

樹の会 vol.66

ジャパンゲームフィッシュ協会(JGFA)主催の第29回国際カジキ釣り大会が今年も全国各地からオーナーボート、チャーターボート合わせ104艇が参加して開かれました。昭和54年三宅島にて、第1回東京トロリングフェスティバルとしてスタート。参加者の増加、交通の便、宿泊施設等を考慮し、昭和60年の第7回大会から下田に会場を移し23回を数えます。回を重ねるにつれて、大会関係者の間では、下田を世界の「S H I M O D A」にしたいという強い意識が芽生え、年を追うごとにその規模を拡大し、御前崎や串本の開催地関係者も多く視察に訪れ、今や名実共に世界トップクラスのビルフィッシュ・トーナメントとなりました。魚市場で行われた前夜祭に招かれた私は、今年も多くの皆様に参加していただきました。下田カジキサポート委員会メンバーはじめ下田市民を代表して心から歓迎し、最終日の表彰式で皆さんの素晴らしい笑顔が見られる大会になるように祈念申し上げます」とあいさつ。しかし自然相手の

イベントは大変難しいものです。大会数日前に襲来した台風4号の影響で好条件が一変してしまいました。昨年同様、水温が21度から22度とやや低めで初日の釣果はゼロとなってしまい、大変心配させられました。2日目にマジギキとクロカジキが各2本ずつ上がり、最終日も136・9キロのクロカジキを含む3本の釣果があり正直ホッとした次第です。カジキ大会本部横では下田青年会議所による「マリンフェスタ下田」も開催され露店市も大にぎわいでした。このカジキ釣り大会に全国から訪れる参加者は700名を超え、大会開催中の燃料代・宿泊代・飲食代等、その経済効果は数千万円といわれております。大会運営にご尽力いただいた多くの関係者の皆様に御礼申し上げます。海という素晴らしい宝をもった下田。来年は第30回というメモリアル大会となり、より盛大に開催されます。おもてなしの心を持って、下田市をあげて万全の体制で皆様を歓迎したいと思います。



下田市長 石井直樹